

## VR認知症体験会

### 仮想体験を通じて適切な支援を考える



9月5日に、渋川地区在宅医療介護連携支援センターの主催によるVR認知症体験会が開催されました。この事業は、専用のゴーグルなどを身に着けて、認知症患者が体験している状況を仮想体験するもの。この日は、医療介護関係者や看護学生が参加して3つの症状を体験し、患者の感じ方を知るとともに、支援の仕方について考えていました。



## 認知症の理解促進に向けた企画展示 認知症とともに生きる



9月の世界アルツハイマー月間に合わせ、9月13～17日に本庁舎市民ホールで「認知症になっても安心して暮らせる地域へ」をテーマに展示や動画上映などを行いました。地域で認知症の人とともに生きるまちづくりのため、市は、条例を制定するなど、認知症への理解を深めるためのさまざま取り組みを進めています。

## 共生社会ホストタウンサミットin福島 オンラインで市の取り組みを発表



9月11日に、共生社会ホストタウンサミットin福島が開催されました。新型コロナ対策のためオンライン開催でしたが、本市は全国100以上の団体を代表して事例発表を行ったほか、市長がパネルディスカッションに参加。担当大臣の総評では、本市のユニバーサルツーリズムの取り組みに、高い評価をいただきました。

## 赤城町深山に渡りチョウが飛来 アサギマダラの旅を楽しみに

赤城町深山地内の民地に植えられたフジバカマの花に、渡りチョウとして知られるアサギマダラの群れが飛来しました。民地は、県道赤城山敷島停車場線沿いにあり、多い日には30匹が飛来。近所に住む人がチョウを見に集まり、中には捕獲場所を羽に書き込むマーキングをして、チョウがどこまで旅をするのか楽しみにしている人もいました。

